

名張市立病院だより

きらり

No.15

発行/名張市立病院  
 〒518-0481  
 三重県名張市百合が丘西1-178  
 ☎ 0595-61-1100(代表)  
 ☎ 0595-64-7999  
 Ⓔ hp-somu@city.nabari.mie.jp  
 名張市立病院 検索



伊賀地域の二次救急  
 医療を守るために

市立病院院長 伊藤 宏雄



初期臨床研修義務化に伴い研修医の意識が変化し、大学の医局に入る医師が減少。そのため、大学から派遣されていた医師の引き上げが始まりました。伊賀地域では、潜在的な勤務医不足が具現化し、二次救急を維持することが難しくなってきました。

そこで、平成20年4月から、問題を抱えながらも、名張市立病院47%、上野総合市民病院28%、岡波総合病院25%の割合で3病院が輪番で二次救急を実施することになりました。

しかし、平成22年4月、上野総合市民病院の内科医師が減少したことから、輪番を続けることが非常に困難な状況になっていきました。そこで、少ないマンパワーを効率的に活用するために上野総合市民病院と名張市立病院の二次救急機能の集約化を進めてきましたが、医師の確保が困難となり実現しませんでした。

結果的に、引き続き輪番体制を続けることになりましたが、名張市立病院は、それまでの比率より多い50%を、岡波総合病院は以前と同じ25%を、上野総合市民病院も25%を担うものの内科入院はできないという変則

的な輪番体制となりました。

その後も、伊賀地域からの内科医師の減少は続き、平成22年10月には名張市立病院の循環器内科の医師が1人減少したため、名張市立病院の輪番比率を減らそうと考えました。しかし、病院職員から、「市民にとっても50%の輪番を維持していくことが大切だ」という意見が出されました。現在、この50%の輪番を続けていくため、内科系・外科系の医師や病院職員全員が必死に頑張っています。

また、地域再生計画を変更し、公立2病院が専門性を生かした特色ある病院づくりや、医療の質の向上と医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めることで、医師確保も図りながら、当面の間、伊賀地域の二次救急を維持することになりました。

そのようなことから、本年1月1日付けで、名張市立病院から上野総合市民病院へ2人の外科医師が異動となったところで

す。今後は、伊賀地域の二次救急医療を維持していくためにも、医師確保を最優先の課題として、病院職員の疲弊を防ぎ、医療環境の改善を進めなければならぬと考えています。

地域医療を支える さまざまな  
 スタッフの思いをご紹介します

脳神経外科医師 横田 浩

名張市立病院に赴任して約1年半になりましたが、地域医療の問題点を実感しつつ診療に携わっております。

当面の課題は、当たり前の事を当たり前にする(できるように)ことです。これは、簡単なように聞こえるかもしれませんが難しいこと

とです。その上で、脳神経外科医としての専門性を発揮できるよう全力を尽くすことが大事だと思っております。微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう努力していきたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



初期研修医 呂 国棟

昨年の11月から名張市立病院で初期研修させていただきました。出身は中国黒竜江省で、同省のハルビン医科大学を卒業しました。

将来、内科医師になることを目指し、昨年4月から10月まで大阪南部の病院で研修していましたが、内科症例の少ない病院だったので、救急の数も多く、内科の疾患もかなり幅広く診ることができた市立病院で、11月からお世話になることになりました。

にあたり、また、外国人医師として日本で働くことは、いろいろな慣れないこともあり、大変難しく感じております。しかし、医者として働きたいと思った以上、困難があっても最後まで頑張っていきたいと考えています。

大学を卒業した半年後に来日した私は、日本の医師国家試験受験資格があるのを知らずに、何年間も他分野での研究と仕事に従事してきました。そのため、新たに医師として再出発することにしました。

市立病院に来てから、優しい指導医の先生たちとよく働く看護師たちに恵まれ、充実した臨床研修をさせていただいております。これからも、伊賀地域の医療に少しでも役に立ちたいと考えています。

医療ソーシャルワーカー(MSW)

田邊 有紀

昨年の4月から、市立病院に社会福祉士の資格を有した「医療ソーシャルワーカー(MSW)」として採用され、患者さまやご家族さまからの各種相談業務を承っております。MSWは、患者さまが地域や家庭で自立した生活ができるよう、社会福祉の立場から、患者さまやご家族さまの抱える心理的・社会的な問題の解決・調整

を援助し、社会復帰の促進を図る専門職と位置づけられています。まだまだ未熟な新人MSWですが、患者さまの退院援助や社会復帰援助の相談に精一杯頑張りたいと思っております。



**医師確保に向けた新たな動き**

**関西医科大学に名張市の「寄附講座」を設置**

**小児の発達支援を対象とした  
外来を、市立病院に開設予定**



名張市と関西医科大学は、1月12日、寄附講座開設の協定を締結しました。写真は、調印後に握手する関西医科大学の金子一成教授(右)と亀井利克市長(左)

市は、医師を確保し、発達障害児に対する支援や療育に対応していくため、関西医科大学に名張市の「寄附講座」を開設。同大から発達障害の専門医の派遣を受け、4月より、市立病院に週1回の「発達支援外来」を開設する予定です。

調印式で同大の金子一成教授は、「発達障害がある子どもは移動も大変なので、皆さんの生活圏で療育を進めていけることが魅力です。また、発達障害児が増加しているとも言われており、発達障害の

調査研究を進めていくことが大切。公開講座なども開催したい」と話されました。

今後、同大学から市立病院に派遣されている小児科医師とも連携し、小児医療の充実を図るとともに、来年度中に開設予定の「(仮称)子ども発達支援センター」の整備や運営にも支援いただきます。

なお、寄附講座の設置期間は1月12日から平成26年3月31日までで、寄付金額は4,000万円。現在、市では、他大学とも寄附講座の開設について協議中です。

■**発達障害とは**…「いつまでも落ち着かない」「コミュニケーションがうまくとれない」などの原因として、脳の機能などがうまく働かない場合があります。これは発達障害と呼ばれ、療育などにより改善することができるとされています。

■**寄附講座とは**…大学などが行政や民間企業から受けた寄付を活用し、研究や調査を進めるシステム

**外来診療担当表**

平成23年1月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 ・ 循環器内科	第1診	伊藤		●伊藤		●谷村		谷村		伊藤	
	第2診	泉		常岡		●吉田		●泉		泉	
	第3診	●山中				山中		山中		岡本	
	第4診	●北村				我山		吉田		●常岡	
	第5診	●常岡			循環器内科医師(※1)			●矢野		我山	
腎臓内科						堅村					
神経内科								佐々木良元			
泌尿器科		西川									
糖尿病外来										佐々木良磨	
小児科	第1診	●須藤博明	須藤博明 (予約外来)	●今井	岡本 (予防接種)	●須藤博明	須藤博明 (乳児検診)	●岡本	岡本 (外来14時~16時)	●今井	今井 (予約外来)
	第2診	須藤京子 (アレルギー外来)	須藤京子 (アレルギー外来)	須藤京子	今井 (予約外来)		須藤京子 (アレルギー外来)				
外科	第1診	●久保田		●坪内		坪内(※2)		●坪内		●坪内	
	第2診	坪内				竹内				久保田	
	第3診	寺邊								浦田	
整形外科	第1診	●園田		●内藤		●内藤		●松村		●園田	
	第2診	松村		園田		松村		園田		内藤	
脳神経外科		●井田		●井田		●横田				●井田	
眼科		●生杉		●生杉	生杉	●生杉	生杉	●生杉	生杉	●生杉	

●…初診外来 (※1)…ペースメーカー外来(1・4・7・10月の第3週のみ) (※2)…水曜日の外科初診は休止となります(2月から)

**受付時間**

<予約のない人> 受付時間 午前8時30分~午前11時30分

- 内科、循環器内科、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病外来は、医師の紹介状をご持参ください。
- 神経内科については、事前予約を必要とする完全予約制となります。
- 小児科のみ木曜日午後1時30分~午後4時も受付

<予約のある人> 午前8時から予約終了時刻まで



**保険証などは**

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。